

「東北電力の被ばく低減に向けた取り組み」

東北電力株式会社 伊藤 重 氏

東北電力がこれまで取組んできた被ばく低減対策についての紹介である。

線源のタイプにはイオン状の置換性線源とクラッド状の沈積性線源がある。東北電力では、系統試験、起動試験時からクリーン・プラント・アクションと称される様々なクラッド低減対策を通して、沈積性線源の低減を図ってきた。一方、置換性線源の低減については水質管理で対処している。女川 1 号では Ni/Fe 比管理を、女川 2・3 号及び東通 1 号では極低 Fe 高 Ni 管理を採用して、置換性線源の低減を図っている。又、東通 1 号機では、給水加熱器のプレ・フィルミングにより Co 放出源の低減を図っている。

クリーン・プラント・アクションや被ばく低減対策は地元の理解を得るために重要であり、今後も進めていく。

Water chemistry control (Operation with extremely-low Fe high Ni)

p7

